

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 3 月 25 日(2022.3.25)

【公開番号】特開 2021-183215(P2021-183215A)

【公開日】令和 3 年 12 月 2 日(2021.12.2)

【年通号数】公開・登録公報 2021-058

【出願番号】特願 2021-140937(P2021-140937)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 3 月 16 日(2022.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域が形成された遊技盤を備え、遊技者による発射操作によって発射された遊技球が前記遊技領域に設けられた始動口に入球することにより図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示結果として当り結果を導出する場合に、所定の遊技利益を付与する遊技機であって、

前記遊技盤に設けられた特定操作部に対する操作に基づいて、当り確率に関する設定値を決定可能な設定モードを発生させる設定モード発生手段と、

前記設定値を表示可能な設定値表示手段と、

遊技に使用した遊技球の数をを用いて計算されるベース値を表示可能なベース値表示手段と、

30

を備え、

前記設定値表示手段により表示される前記設定値と、前記ベース値表示手段により表示される前記ベース値は、遊技に関する演出が行われる演出表示装置とは異なる特定表示装置に表示され、

前記特定表示装置にて前記設定値が表示されている場合には、前記特定表示装置にて前記ベース値が表示されないものであり、

前記設定モード中は、前記ベース値の計算が行われないものであり、

さらに、前記設定モードが終了すると、前記ベース値と前記設定値の何れとも異なる態様の特別表示が前記特定表示装置にて表示される

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで、本発明は、上記の実情に鑑み、遊技機の信頼性を高めることを課題とするものである。

【手続補正 3】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本明細書に開示される発明の一例は以下の通りである。

遊技領域が形成された遊技盤を備え、遊技者による発射操作によって発射された遊技球が前記遊技領域に設けられた始動口に入球することにより図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示結果として当り結果を導出する場合に、所定の遊技利益を付与する遊技機であって、

10

前記遊技盤に設けられた特定操作部に対する操作に基づいて、当り確率に関する設定値を決定可能な設定モードを発生させる設定モード発生手段と、

前記設定値を表示可能な設定値表示手段と、

遊技に使用した遊技球の数をを用いて計算されるベース値を表示可能なベース値表示手段と、

を備え、

前記設定値表示手段により表示される前記設定値と、前記ベース値表示手段により表示される前記ベース値は、遊技に関する演出が行われる演出表示装置とは異なる特定表示装置に表示され、

前記特定表示装置にて前記設定値が表示されている場合には、前記特定表示装置にて前記ベース値が表示されないものであり、

20

前記設定モード中は、前記ベース値の計算が行われないものであり、

さらに、前記設定モードが終了すると、前記ベース値と前記設定値の何れとも異なる態様の特別表示が前記特定表示装置にて表示される

ことを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、遊技機の信頼性を高めることができる。

30

40

50